

令和 8 年度 第 6 回 富士市水道事業及び公共下水道事業経営審議会 会事録

審議会等の名称	富士市水道事業及び公共下水道事業経営審議会
庶務を担当する部課等	上下水道部上下水道経営課 企画総務担当 電話 67-2814
会議の開催の日時	令和 8 年 8 月 21 日（金）午後 1 時 30 分から午後 3 時 35 分
会議の開催の場所	フィランセ西館 4 階 大ホール
出席者（職・氏名）	（委員） 会長 小滝勝昭、副会長 東恵子、遠藤誠作、篠原丈治、入野一人、大石和儀、服部鷹彦、渡邊啓視、岩崎園江、櫻井裕美子、濱田江理、内野浩恵、鈴木順一郎、堀田響子、水野桂子 （事務局） 上下水道部長、上下水道経営課長、上下水道営業課長、水道維持課長、水道工務課長、下水道建設課長、下水道施設維持課長、生活排水対策課長、上下水道経営課調整主幹及び統括主幹、上下水道営業課統括主幹、下水道建設課統括主幹
会議の内容	会長挨拶 ・議題 ①下水道使用料改定(案)について ②下水道使用料体系(案)について
配布資料（件目）	【当日配布】 ・次第 ・座席表 ・（資料No.18）下水道使用料体系参考資料 ・（資料No.19）下水道使用料体系(案) ・（資料No.20）県内各市及び類似団体下水道使用料比較表
審議の状況	下水道使用料改定(案)の審議、決定後、下水道使用料体系(案)について、資料No.18 から資料No.20 を用いて詳細な説明を行い、審議、決定した。
	審議事項の 1 点目「下水道使用料改定(案)について」委員から、A 案は市民負担を抑えられる一方、経費回収率が 100%に達しないため、老朽化した下水道管路の更新や耐震化に不安があるとの意見が出され、B 案は市民負担が増加するものの、経費回収率 100%となり、災害や物価・金利上昇など不測の事態への対応力が高まるとの意見が出された。また、国庫補助金は、経費回収率が現状の 92.9%を上回っていれば獲得可

	能であり、A 案・B 案のいずれでも補助金の受給要件を満たす見込みであることが確認された。 以上の審議の結果、A 案 6 名、B 案 8 名となり、多数意見により、下水道使用料の改定は B 案（平均改定率 7.7%、経費回収率 100%）を採用する方向で決定した。 審議事項の 2 点目「下水道使用料体系(案)について」委員から、人口はどんどん減っていく中、基本料金割合をしっかりと上げて今から備えておくことが必要であるとして、案 1 を選定した委員がいた一方で、一般家庭、子育て世帯への負担、基本料金割合と使用者間の公平性、将来の経営安定性を総合的に改善できる案 2 が最もバランスがよいと評価された。 以上の審議の結果、案 1 が 1 名、案 2 が 13 名となり、多数意見により、下水道使用料体系は案 2 を採用する方向で決定した。
審議の結果	上記審議状況のとおり、下水道使用料改定は、多数意見により B 案で決定し、下水道使用料体系については、多数意見により案 2 で決定した。
備 考	